

再エネをめぐるEUの動き

- 〇ロシアのウクライナ侵攻により世界のエネルギー情勢が 大きく変貌
- O EUがエネルギー転換計画「REPowerEU」を公表 (2022年5月18日) 2030年の再エネ目標を45%に引き上げ
- 〇「ソーラー屋上イニシアチブ」:太陽光パネル義務化 2026年までに、250㎡以上のすべての新築公共・商業ビル 2027年までに、250㎡以上のすべての既存公共・商業施設 2029年までに、すべての新築住宅



太陽光発電義務化のポイント

- 2030年カーボンハーフ(再エネ比率50%)に向け加速
- 〇 新築の機会を捉え太陽光発電設備を設置し「①創る」を促進
- ✓ 住宅に対する義務化は国内初
- ✓ 事業者に対して義務を設定 年間2万㎡以上の供給事業者が対象(事業者50社程度)
- ✓ 柔軟な運用が可能 日照条件、住宅購入者の意向なども配慮

(参考)都内年間新築棟数4.5万棟のうち約50%が対象と想定



太陽光発電設備の設置による効果①

- ・毎月電気代(2人以上世帯の家庭) 1万円程度
- ・標準的な戸建住宅に4kWを設置



月々7,700円 年間92,400円お得!

- ・設置費用 約92万円
 - →約10年で賄え、以降はまるまるお得に!
- ・補助金(40万円(10万円/kW))を活用すると
 - → 約6年ともっとお得に!



太陽光発電設備の設置による効果②

災害時の利用

・災害時には家電製品やスマホの利用も可能に





脱炭素への貢献



・4kW設置でスギ林約2,000㎡分のCO2吸収量に相当



新たな制度へのよくあるご質問(1)

Q 住宅購入者への負担が増すのでは?

- ⇒ 初期費用ゼロで設置できる手法も利用可能
 - ・リース
 - ・電力販売 (PPA)
 - ・屋根貸し



(例: 電力販売)

令和4年度は太陽光発電設備に補助も実施(東京ゼロエミ住宅等)



新たな制度へのよくあるご質問②

Q 廃棄はどうすればいいの?

⇒リサイクル施設は複数あり、リサイクルは可能



環境局ホームページでFAQを紹介(随時更新)



HTT 環境局ホームページ(太陽光ポータル)





Tokyo Cool Home 照明編

家庭での電化製品の電気使用量

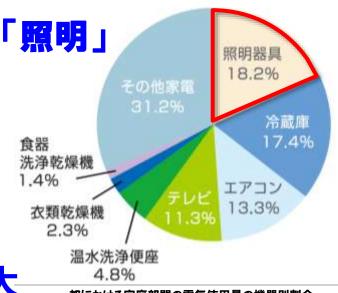
・家庭で電力を多く使う電化製品は「照明」

・居間の照明の4割は、蛍光灯など



居間の照明のLED化は

省エネ効果大



都における家庭部門の電気使用量の機器別割合 (2019年度)



照明器具で省エネ・節約

買替で省エネ・節約







LED 照明器具

✓ 照明器具3台をLEDに取替
▲5.8%・年間約6,600円 節約

※68Wの蛍光灯シーリングライトから34Wのシーリングライトに交換した場合 (使用時間:2,000時間/年)

使い方で省エネ・節約

✓ 人感センサーつきLED照明で、消し忘れなし



東京ゼロエミポイントの対象を拡大

LED照明器具への買替

3,000 P

令和4年第2回都議会 定例会に補正予算を提案

屋内に固定して使用するもの (シーリングライト等)



取替作業費の一部支援

2,000P

家電店などの取替え作業費が生じる場合

- ✓ 1 P=1円の商品券に交換
- ✓ 申請はWeb又は郵送で簡単

